

# スプレーカーネーションの品種育成

## 1. 育成のねらい

カーネーションは切り花の代表的な花で、多くの量が消費されている。しかし価格は低迷しており、栽培農家の経営は大変苦しい状況にある。更に、品種ごとにロイヤリティーが付いており経営をますます圧迫している。そこで、カーネーション農家を支援するため、現在最も大量に消費され、人気のあるピンクのスプレーカーネーション品種を育成しようとした。

## 2. 育成経過

- (1) 平成2年11月に場内で保有する中間母株を交雑し、平成3年3月に優良個体を選抜した。選抜個体間で交雑を行い、この実生開花株の中から、平成4年10月に優良系統を選抜した。これらを増殖し、平成5年3～4月に開花検定を行い、3系統を選抜、更に、平成5年3～4月に開花検定を行い、2系統を選抜した。
- (2) 3系統の生産力検定及び特性調査は、平成5年11～12月に行った。品種としての安定性を確認し、平成6年3月に「PSP-1」「PSP-2」「PSP-3」を、平成7年3月に「PSP-4」「PSP-5」の品種名で農水省に品種登録を出願した。

## 3. 品種の特性

「PSP-1」：草型は立性、花房の形は一茎多花、花は八重で盛り咲きと平咲きの中間である。花径は6.8cmとやや大きく、花弁数が少なく、がく割れを起こさない。花色は淡桃色の単色、開花期はライトピンクバーバラより早く、早生品種である（表-1）。

「PSP-2」：草型は立性、花房の形は一茎多花、花は八重で盛り咲きと平咲きの中間である。花径は4.8cmとやや小さく、花弁数は多いが、がく割れを起こしにくい。

分枝数はやや多く、茎は硬く折れにくい。花色は桃白色の単色で、開花期はライトピンクバーバラより早く、早生品種である（表-1）。

「PSP-3」：草型は立性、花房の形は一茎多花、花は八重で盛り咲きと平咲きの中間である。花径は3.4cmとやや小さく、花弁数は多いが、がく割れを起こしにくい。分枝数はやや多く、茎は硬く折れにくい。花色は淡桃色の単色で、開花期はライトピンクバーバラとほぼ同程で、早生品種である（表-1）。

「PSP-4」：草型は立性、花は八重に分類されるが、花弁数は少なく、花型は平咲きである。花径は4.9cm、花持ちが良く、がく割れのない品種である。花色は鮮桃色の単色である。開花習性は四季咲きで、開花は早い（表-1）。

「PSP-5」：草型は立性、花房の形は一茎多花。花は八重で花弁数はやや少なく、花型は盛咲きで、花径は4.9cm。花持ちが良く、がく割れはない。花色は桃白色の単色、開花習性は四季咲きで、茎は太く折れ難く、分枝数が多い（表-1）。

（担当者 花き部 岡部陽一）

表-1 育成品種の特性

調査項目	(単位)	PSP-1	PSP-2	PSP-3	PSP-4	PSP-5
草 丈	(cm)	89.0	99.0	88.0	96.0	90.3
茎の太さ	(mm)	6.2	4.6	6.5	5.1	4.1
節 数	(節)	14.0	13.7	14.0	17.7	18.7
分枝数	(本)	4.4	5.0	4.6	6.0	6.7
葉身長	(cm)	11.0	17.0	13.5	12.2	8.3
葉身幅	(cm)	1.3	1.0	1.3	1.3	0.8
蕾長×直型		4.5	2.9	2.9	3.8	2.3
花 茎	(cm)	6.8	4.8	3.4	4.9	4.9
花弁長/2×花弁幅		7.1	4.9	2.3	0.7	0.8
花 弁 数	(枚)	26.0	35.0	43.0	6.0	27.3
総苞の大きさ	(cm)	1.2×1.2	1.0×1.0	1.0×0.8	1.1×1.1	1.2×0.8
がく筒の長さ	(cm)	3.2	2.7	2.0	3.1	3.0
がく筒の直径	(cm)	1.4	1.3	0.7	0.8	0.8
1花弁の花数	(個)	2.9	5.5	2.5	2.4	2.6
花 色		淡桃色	桃白色	淡桃色	鮮桃色	桃白色
カラーチャートNO.	(JHS)	0402	0101	0402	0105	0101